

はばたけ

療育訓練・施設見学

Part 1

ので、互に助かり、お年寄の「うそ」と「正直」を聞き、お茶を汲み交わしながら、和氣藹々と作業に励んでいました。また、筆業の原書は始め手本の人形や花も作り、可能すべての模倣

前日の雨模様から、二日目はうつて夜へ出店し、作業所の暮在のアヒールと、
朝から晴天に恵まれ、奥の日射しの
目的のきをすげて本筋に到着しました。
作業所では、仕事の部品に理りられないが
ら、腹もむかうらず、一生懸命作業で
した。
作業所の増毛は、木々に囲まれ、静か
なだけ下さいでとてもよい場所です。
責任者の岩本さんからの説明では、
「お寺が集まるアヒールの歌」と同居している
うです。

部品の組立で等を主な仕事としている
うですが、完全な製品と納期の厳守で
忙しい日々を送っているようです。見る
度、障害者さんは非常に優れており、人
との間違いなどを除え合って仕事を進
みます。多くの方はうつことによつて、工
事に自信と生きがいを感じて来ています。

すます忙しくなるだろつヒリウことを
いました。
さすげ作
業所の皆様
忙しいなか
重要な時間
をさして戴
きありがとうございました。
うふふ
いは



柏木障害者の自立をめざす会
発行責任者 中山 金典
発行日 1988.9.8

私達は
障害者が地域の人々と共に生
き生きと生活していくの
「ねづくり」をするからい
ます。



地域づくり
障害者のための
村づくり

9月18日

生
物

國立奇尼寺公園
植物文化會館

24-25日

林床障害者
の会
福岡に参加

堀川和子

成^しました。
現在、遙^{とお}まきなら及^ひ抗^{こう}期^きの真^ま只^じや、
外^{そと}は既^{すでに}ニマゴリとカソコをつけて
います。が私の「まに」「三毛」の名^なに、機^き
は僕^{ぼく}の考^{かん}えで青春^{せいしゅん}を我^わしむと一日^{いつ}半^{はん}青^{せい}春^{しゅん}
を度^{とお}すくつて居^ゐります。其^{その}前の日^ひ
節^{せつ}目に^にか^かつてリ振^ふんでいゝる運^{うん}の強^{きよ}さを誰^{だれ}
すか今後^{今後}其^{その}シナクト^{シナクト}生き^{いて}いって欲^ほりと
國^{こく}に^います。而^は年^{とし}は高^{たか}校^{こう}三年生^{せい}、皆^{みな}君^{きみ}
の夢^{ゆめ}を宣^{あらわ}しく御^ご願^{ねが}い致^{いた}します。

〈part 2〉
種族と親睦の
族に参加して
高木 輝太郎

この度日光の視察と親派の一泊旅行
参加して感じたことを一言述べさせて
いただきます。
私達も娘子夫婦からこの話

聞き参加してみてと言われた時はどう
どうかと一寸迷いましたが、心身に障
のあるお年さん方が樂しみにしていろ

泊の旅行をするとの事、是非みんなで
語にと思い仲間にしていただきました。
私達にも同じ境遇の孫が居ります。

の子が皆、種の間でどんな行動をするのか
心配でしたが、でも仲間のみなさん、
れにお友さん、お母さん方の温かい言葉
がうれしかったから、下見に懸こうとしました

心身に障害を持つこの世に生をうけた人の価値が苦労と努力を重ねなければならぬなどいはゞ、このこれからの長い人生

心配すると共に周囲の人達の温かい心

尊告者の村ブクリ

卷之三

自己と言つても、それは精神修養の
めのお題目では何にもなりません。

ご参考までです。

一、生活
二、舅姑
三、統治(自治)

生活は、常に教育、文化、福祉とて
ていい。可^能性外^のを除^くて、生活は必ずしも
政治活動なども場として、教育・保健・文化など
がされていります。さらに、親子劇場や
子育て運動などより文化を育^む、「伝

レトロでカレーン三吉は大事です。
それは、よりもなまざすつづりと
とは、子どもたちが豫豫のあるなしに肩
親係るくこそやかに成長でき、いさしさと
生産に歯み、互いの汗に喜びを見い出し

私たちが、地域で生活し、勞働し、更に生きているといふ現実が

政のありかたに改善を求めて、新しい自治のファン発行のために運動することあります。

統治へ自治)は、本来、生活と勞働を
統括するものですが、時には専治体の行
為れます。

最初には技術者を育むことを目的として、
産業などの試み、共同多センターをつ
くる、共同農場、農園、作業所などとく
易をつくることを含め、頗る広い活動が企

創築していく——一市民のすくいの運動

金地城の本屋で見立たれが、それが植
り園園でも起つてしまひます。リサ姫は不
付いたままで登場をしてしまひ、収録後
も乾燥せずにサヤのままで腐破してしま
いました。

さうにトマトはあくならず、本キは根
腐れを起つてしまひました。周辺の田
圃も言うに及ばず、苗を始めとして畠作
物の大惨状が現れています。

又播種時期は、何をみても優等させ
るみんなの結果が密度と、低温下限で廢
じます。ぶり返ると、未だ
の作業は実験に左
石されない、確実
性・恒常性のある
ものも考へる必要

8-7

冷夏に泣く

中山全集

本気象の枝葉は

全世界的な医学家が、我が極く
に医局でも起つてゐます。リサさんは本
に付いたままで発芽してしまり、収穫後
も乾燥せずそのまま腐敗してしま

いました。

煙も言うに及ばず、猫を始めとして農作物の大幡な減収は明らかです。

又播種時期は、何をみいても優先させ
みんなの結果が必要と、低温下限で感
じます。ふり返ると、我達

の作業は天候に左右されない、確実

ものも考える必要
があるようある
事常有するのである